

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ツネイシカムテックス株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町107-5

(3) 業種

産業廃棄物処分業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和4（2022）年度から令和12（2030）年度までの9年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	12,918	8,406 34.9	9,312 27.9	9,705 24.9	20,411 (58.0)	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	176,000	135,520 23.0	167,600 4.8	152,700 13.2	179,511 (2.0)	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	5,780	4,450 23.0	5,910 (2.3)	5,730 0.9	1,827 68.4	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	194,698	148,377 23.8	182,822 6.1	168,135 13.6	201,753 (3.6)	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	高温で処理する炉（溶融炉）の稼働量が増えたため、原単位が大幅に悪化した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

廃棄物処理量t

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	0.0032	0.0015 53.8	0.0016 50.0	0.0017 46.9	0.0036 -11.7	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0.043	0.0238 44.7	0.0293 31.9	0.0272 36.7	0.0320 25.6	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0.0014	0.0008 46.4	0.0010 28.6	0.0010 28.6	0.00032 77.2	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.0475	0.0261 45.1	0.0322 32.2	0.0299 37.1	0.0359 24.5	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.179	0.0700 60.8	0.0807 54.9	0.0880 50.7	0.253 -41.5	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	高温で処理する炉（溶融炉）の稼働量が増えたため、原単位が大幅に悪化した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気の使用量の削減	購入電力を1%削減	電気室エアコンの廃熱利用した吸着式冷凍機への置き換え
2	電気の使用量の削減	電気の使用量を1%削減	コンプレッサーの更新
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1	2022年10月より買電の再エネ特約による契約	875t-CO2
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を5パーセント削減	コピー用紙裏面利用及び書類のPDF化
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。